

# 野蒜復興新聞

## 野蒜ヶ丘まちびらきまつり 実行委員会始動

10月15日(日)に向け、三部会で協議開始

野蒜ヶ丘まちびらきまつり  
 第一回実行委員会

7月23日(日)野蒜ヶ丘まちびらきまつり第一回実行委員会が開催されました。

野蒜まちづくり協議会役員および専門部会員、野蒜北部丘陵振興協議会役員、その他まつりの目的に賛同する一般市民の50名を以て構成されています。

初めての顔合わせとなったこの日、設営や事業計画、収支予算などの説明が事務局より行われた後、総務部会、出店部会、演技部会の三つの部会が組織され、それぞれの部会ごとに協議が行われました。

企画案では、野蒜地域のみこしパレードなどが計画されており、野蒜地域全体で新しいまち「野蒜ヶ丘」の誕生を盛大に祝うお祭りとなりそうです。

三部会の役割の主なもの

【総務部会】

・まつり会場全体の設営および運営に関すること等

【出店部会】

・出店者の募集・受付・位置確認等

【演技部会】

・出演者(個人・団体)の募集・受付・演目や時間、内容の確認等

皆で新しいまちの誕生をお祝いしよう!



野蒜まちづくり協議会  
 イメージキャラクター  
 マックン

野蒜想いのリリース

野蒜復興新聞編集員  
 齊藤 弘紀

いつも野蒜復興新聞をご愛読いただき、ありがとうございます。2012年8月に前JICA地域復興推進員の佐々木淳氏が発行を開始した野蒜復興新聞は、2014年8月から私が引き継ぎ、本号で創刊から5周年となり、57号目を迎えることができました。

野蒜が蘇る姿を、野蒜復興新聞を通じて皆さまへお伝えしてきたことは、とても嬉しく思っています。

9月号からは新しい推進員の須田さん、京野さんの2名が引き続き情報を発信していきますので、宜しくお願いいたします。



大雨の後はきつと虹が架かる。  
 (7月18日(火)筆者撮影)

野蒜ヶ丘まちびらきまつり第一回実行委員会の様子



# 野 蒜 北 部 丘 陵 振 興 協 議 会

## 地区自治会形成に向け毎週合同会議開催

### 役員会

高台移転・災害公営住宅部会  
合同会議

市営野蒜ヶ丘住宅  
入居者説明会

6月30日(金)に開催された役員会では、6月4日(日)に開催された総会において決議された地区自治会の地区割り案について、スケジュールに沿って協議を進めることが確認されました。

7月11日(火)、18日(火)、25日(火)に野蒜北部丘陵振興協議会高台移転・災害公営住宅部会の合同会議が開催されました。会議では、野蒜ヶ丘との地区自治会形成を希望している亀岡地区自治会の意向を再度確認し、スケジュールを作っており、野蒜北部丘陵振興協議会として、班のグループ分けや規約、役員を選任方法などを先に検討していくことが確認されました。

班のグループ分けでは、ゴミ集積所の場所を基準とした範囲で、一丁目を4班(10戸・24戸)、二丁目を9班(16戸・26戸)、三丁目を5班(14戸・38戸)に分けた案が提示され、これを目安として班を運用していくことになりました。規約については、市役所市民協働課から規約の例が示され、今後検討が行われます。

地区自治会役員を選任方法については、行政区単位での役員配置を考慮しながら、バランスを取りたいという意見があり、今後の協議が必要と見られます。

毎週協議を重ねています。



## 野蒜ヶ丘 災害公営住宅 まもなく全引き渡し完了

6月30日(金)に、野蒜ヶ丘一丁目および三丁目の災害公営住宅の鍵の引き渡しが行われ、少しずつ野蒜ヶ丘に灯りが増えてきています。

二丁目の災害公営住宅についても8月の入居が控えています。新しいまちで、皆さん楽しく暮らしていきましょう。

説明会では、建設課から入居までの手続き、各事業者よりライフラインの契約手続き、住宅供給公社から入居後の手続きについて説明がありました。

説明会閉会後は、画地ごとの顔合わせ会も実施



との顔合わせ会や、調理室ではIHの体験会も催され、それぞれ出身地区や家族構成など簡単な自己紹介をしながら、新しく始まる地区での生活を想像し、会話が弾んでいました。

野蒜ヶ丘中央集会所も、間もなく完成です。



水の公園の円形池



二丁目にある水の公園の円形池については、自治会の設立前で水道料金を負担する組織も出来ず、安全上管理も出来ない。また、夏の利用に間に合わず、今年度は使用しないこととなりましたのでご理解ください。よろしくお願いいたします。

二丁目にある水の公園の円形池について

新しいまちに暮らすのはわくわくするね♪



野蒜まちづくり協議会  
イメージキャラクター  
マックん